

## 会議記録（概要）

高松市附属機関等の会議の公開及び委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会議名	令和4年度第2回高松市総合都市交通計画推進協議会
開催日時	令和4年12月2日（金）15時30分～16時30分
開催場所	高松市役所防災合同庁舎5階 501・502会議室
議題	議事 （1）会長・副会長の選任について 報告 （1）タクシーを活用した新しい交通モード「バタクス」創出に向けた実証事業 （2）公共交通利用促進施策 （3）その他
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	—
出席委員	土井委員、紀伊委員、四之宮委員（代理：新居）、植田委員、斎藤委員、野口委員、寺師委員、槇塚委員、古川委員、土井委員、東原委員、黒木委員（代理：佐野）、関口委員（代理：西田）、木村委員、村上委員、岩崎委員（代理：小野）、細川委員、板東委員、石川委員、大西委員、形部委員、佐野委員 オブザーバー：石丸課長、尾幡課長（代理：兼近） （欠席者：委員0名）
傍聴者	0人（傍聴席：10席を確保）、報道 1人
担当課及び連絡先	交通政策課 087-839-2138

### 審議経過及び審議結果

<p>開会 (事務局)</p> <p>本日は、委員の半数以上が出席しているため、当協議会設置条例第6条第2項の規定により、会議は成立する。</p> <p>1 議事</p> <p>次の議事について協議し、下記の結果となった。</p> <p>(1) 会長・副会長の選任について</p> <p>高松市総合都市交通計画推進協議会条例第5条第1項の規定により、会長及び副会長の互選により次のとおり決定した。</p>
--

会 長：土井委員

副会長：紀伊委員

## 2 報告

(1) 「タクシーを活用した新しい交通モード「バタクス」創出に向けた実証事業

・・・事務局から説明（資料1）

(会 長)

バタクスについては専門性が高く、直ぐに御意見を出すことは難しいかもしれないが、忌憚のない意見をいただければと思う。バタクスは、これまでの公共交通の運行に対する考え方とだいぶ違うもので、学会などの学識の方でも直ぐには理解ができないもので、非常にレベルの高い組立となっている。

現在運行中のエリアにおいて、サービス水準を上げてても需要に変化が見られなかったというのは、バスからタクシー型のものへとモードダウンする中で予想された結果だと思うので、悲観するものではないと考える。他方、ライフスタイルの変化を促すということを考えるのであれば、現在のバス代替のエリアとは別に、例えば、コミュニティバスが運行しているが、あまり利用がされていない地域において、バタクスで末端の交通を育てながら、路線バスへ乗り換えていくという考え方もあるかと思う。

バタクスには、いろいろな地域で使い分けることができる柔軟性があると考えている。

規制改革という大きなテーマも絡む中で、バタクスの話はされてきたが、規制改革あるいは規制緩和の中でまちづくりをされてきた古川委員、どのような印象を持たれるだろうか。

(委 員)

蛇足的になるが、県外に行くと、地元の人には知らないのだが、公共交通に関して「高松モデル」は全国的に非常に評価が高い。きめ細かな施策が次々と立案されているということなので、今後も引き続きお願いしたい。

資料の 21 ページ、事業の実施主体について、行政主体から民間主体への転換とあるが、民間は投資効果が低いものには投資しにくいので、事業主体が民間に移るのはいいことだと思うが、しっかりとした支援策を御用意いただきたいと思う。

(会 長)

タクシー協会としてはどうか。

(委 員)

実証ではサービス水準を上げてても利用が少なかったということだが、私自身も高松市でタクシー事業を経営する中で、「バスは安くて良いがバス停まで行けず、タクシーは高い」という人がかなりおられる。そういう方の、バタクスの需要が出てきてもいいと考えている。

地域でバタクスの知名度は少しずつ上がってきていると思う一方で、タクシーやバスについて、使ったことのない方にとっては、使い方が分からないことがハードルになっている。そのあ

たりを、地域の方々に積極的にアピールすることが大事ではないかと考える。私共としては、バタクスはタクシー事業の新たなサービスのひとつとして考えており、積極的に取り組んでいきたいと考えている。

(会 長)

バタクスのサービスを支えられているドライバーの方は、どのような印象をもっているか。

(委 員)

ドライバーからすると、一般のタクシーと変わらないと思う。むしろ路線タクシーであるということは、市が支えてくれる部分もあり安心感があると思う。供給側としては、特に問題はない。

(会 長)

まずは、知名度を上げていくという段階であるし、使い方についても広げていけるといい。

(2) 公共交通利用促進施策

・・・事務局から説明（資料2）

(会 長)

デジタルサイネージは利用者からよく見られているか。

(事務局)

伏石駅、瓦町駅、高松駅のバス停に設置しており、利用者からは御好評をいただいている。

(3) その他 事務局より連絡事項

○本協議会の下部組織である3つの部会の説明及び所属の決定

○次回、令和4年度第3回協議会は、2月開催予定

閉会

以 上